

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-261312

(43)Date of publication of application : 29.09.1998

(51)Int.Cl. F21V 23/04
F21V 19/00
F21V 23/00

(21)Application number : 09-064769

(71)Applicant : TOYO TERUMI KK

(22)Date of filing : 18.03.1997

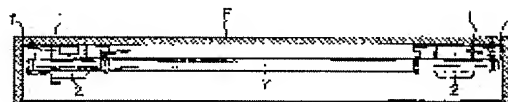
(72)Inventor : NAKANO SUSUMU
ABE TADAKATSU

(54) FLUORESCENT LAMP FIXTURE FOR LIGHTING DECORATIVE ILLUMINATION ELECTRIC SIGN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fluorescent lamp fixture for lighting a decorative illumination electric sign, which never causes the projection of the shadows of electric components such as a holder, a capacitor and a ballast, in lighting a decorative illumination electric sign inside with fluorescent lamps.

SOLUTION: The frame of a decorative illumination electric sign is detachably mounted with roughly rectangular transparent plastic boards 1 and with electric component mounting plates 2 integrated with the boards 1 so as to extend from one sides thereof roughly perpendicularly. The plate 2 is detachably mounted at both its ends with flexible fluorescent lamp holders of transparent plastics so as to receive in its center a capacitor, a ballast and a glow lamp detachably.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 09.02.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.09.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

検索回答: 外国特許・対応特許検索

WFS01: パテントファミリー番号一覧

[様式変更](#)

検索対象文献: 公報番号 JP 10261312A%

様式: WFS01 - パテントファミリー番号一覧(外国)

パテントファミリー:

	文献番号	発行日	出願番号	出願日	優先権主張番号[優先権主張日]
1	JP 10261312A	19980929	JP 6476997A	19970318	JP 6476997A [19970318]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-261312

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月29日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

F 2 1 V 23/04

F 2 1 V 23/04

Z

19/00

3 5 0

19/00

3 5 0 E

23/00

3 6 0

23/00

3 6 0

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-64769

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月18日

(71) 出願人 000222347

東洋テルミー株式会社

東京都中央区日本橋浜町2丁目9番5号

(72) 発明者 中野 進

東京都中央区日本橋浜町2丁目9番5号

東洋テルミー株式会社内

(72) 発明者 阿部 忠勝

東京都中央区日本橋浜町2丁目9番5号

東洋テルミー株式会社内

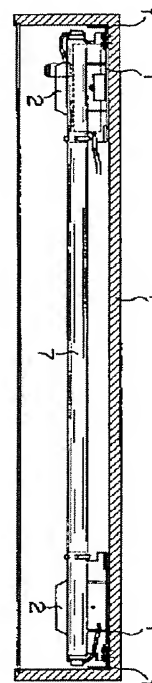
(74) 代理人 弁理士 橘 哲男

(54) 【発明の名称】 電飾看板照明用蛍光ランプ取付具

(57) 【要約】

【課題】 電飾看板のフレーム内部では蛍光ランプに取付用金属製ホルダー受けが対向しているので照明の際に常に看板にその金属製ホルダー受けの影が投影されることになり看板としての見栄えが悪いという問題があった。この問題を解決するために電飾看板の内部で蛍光ランプにより看板を照明する際に蛍光ランプのホルダー、コンデンサ、安定器等の電材の影を投影することのない電飾看板照明用蛍光ランプ取付具を提供することを目的とする。

【解決手段】 この目的を達成するための手段として、電飾看板のフレームに着脱自在で略々矩形の透明プラスチック製基板を設け、該プラスチック製基板の一辺から略々直交方向に延長する電材取付板を一体に形成し、前記電材取付板の両端部分に透明プラスチック製で可撓性のある蛍光ランプ・ホルダーを着脱自在に取付け、前記電材取付板の中間部分にコンデンサーと安定器とグロー・ランプとを着脱自在とした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電飾看板のフレームに着脱自在で略々矩形の透明プラスチック製基板を設け、該プラスチック製基板の一辺から略々直交方向に延長する電材取付板を一体に形成し、前記電材取付板の両端部分に透明プラスチック製で可撓性のある蛍光ランプ・ホルダを着脱自在に取付け、前記電材取付板の中間部分にコンデンサと安定器とグロー・ランプとを着脱自在に取り付けたことを特徴とする電飾看板照明用蛍光ランプ取付具。

【請求項 2】 前記電材取付板の一側に前記蛍光ランプ・ホルダと前記コンデンサを取付け、他側に前記安定器と前記グロー・ランプを取付けたことを特徴とする請求項 1 に記載の電飾看板照明用蛍光ランプ取付具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電飾看板照明用蛍光ランプ取付具に関するもので、さらに詳しくは透明プラスチック製の電飾看板照明用蛍光ランプ取付具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、電飾看板の内部から看板を照明するための蛍光ランプや該蛍光ランプを支持する蛍光ランプ・ホルダ、前記蛍光ランプを駆動するコンデンサ、安定器、グロー・ランプその他の電材は蛍光ランプの長さに応じた金属製取付具、すなわち、ホルダ受けにセット配線して電飾看板のフレームに取り付けていた。

【0003】

【発明が解決使用とする課題】しかし、上述の構成によればフレーム内部で蛍光ランプに前記金属製ホルダー受けが対向しているので照明の際に常に看板上に金属製ホルダー受けの影が投影されることになり看板としての見栄えが悪いという問題があった。

【0004】本発明は、以上のような問題を解決するために電飾看板の内部で蛍光ランプにより看板を照明する際に蛍光ランプのホルダー、コンデンサ、安定器等の電材の影を投影することのない電飾看板照明用蛍光ランプ取付具を提供することを目的とする。

【0005】

【課題の解決するための手段】徐上の目的を達成するために、本発明にかかる電飾看板照明用蛍光ランプ取付具は、その手段として電飾看板のフレームに着脱自在で略々矩形の透明プラスチック製基板を設け、該プラスチック製基板の一辺から略々直交方向に延長する電材取付板を一体に形成し、前記電材取付板の両端部分に透明プラスチック製で可撓性のある蛍光ランプ・ホルダを着脱自在に取付け、前記電材取付板の中間部分にコンデンサと安定器とグロー・ランプとを着脱自在に取り付けたことを要旨としている。

【0006】また、請求項 2 に記載のように、前記電材取付板の一側に前記蛍光ランプ・ホルダと前記コンデンサを取付け他側に前記安定器と前記グロー・ランプを取付けることが望ましい。

【発明の実施の形態】

【0007】図 1 において、1 は略々矩形の透明プラスチック製の基板である。該基板の両端部は段部に形成し該段部に設けた孔 1 a を通して電飾看板のフレームにネジで着脱自在にしてある。そして、前記透明プラスチック製基板 1 の 1 辺から略々直交方向に延長するように電材取付板 2 が形成されている。該電材取付板 2 は、前記基板 1 と一体なので透明プラスチック製である。

【0008】そして前記電材取付板 2 の両端部分には蛍光ランプ・ホルダ 3 を取り付ける取付孔 2 a が形成されている。前記蛍光ランプ・ホルダ 3 は全体が略々音叉状をしているが先端の開口部は蛍光ランプのガラス部を把持できるような狭まった円弧状を呈しており、透明かつ可撓性さえあれば基板 1 と電材取付板 2 と同様の材質でよい。

【0009】前記電材取付板 2 の裏面側には安定器 4 が取付孔 2 b を介してネジ止めされている一方で、表面側にはコンデンサ 5 が取付孔 2 c を介してネジ止めされている。同様にグロー・ランプ 6 も電材取付板 2 の裏面側に取付孔 2 d を介してネジ止めされている。

【0010】以上のように構成された電飾看板照明用蛍光ランプ取付具のランプ・ホルダ 3 に蛍光ランプ 7 のガラス部 7 a を挟持させてプラグ部 7 b をソケット部 7 c と接続させる。そして図 2 に示すように電飾看板フレーム内の両隅において前記基板 1 の段部 1 a を各々のフレーム F の取り付け用アングル部材 f に係合させて取付孔 1 b を介してネジで止める。

【0011】この場合、前記蛍光ランプ・ホルダ 3 はフレーム F の中央側の取付孔 2 a に挿入固定された状態で蛍光ランプのガラス部 7 a を挟持しており、従来のように金属製ホルダー受けがないので蛍光ランプの長さには関係なく全体が構成されている。

【0012】また、電飾看板が大型の場合は図 3 に示すように複数の蛍光ランプ 7 を電飾看板フレーム F 内で使用することがある。その場合でも本発明の蛍光ランプ取付具は使用可能である。すなわち、フレーム F 内の両隅においてはそれぞれ一個の蛍光ランプ取付具の基板 1 の 1 端部側の段部でフレーム F の取付用アングルに取付け、各取付具の電材取付板 2 のフレーム中央部側に位置する二つの取付孔 2 a にそれぞれランプ・ホルダを取付け蛍光ランプ 7 を挟持させる。

【0013】そして、フレーム F の中央部においては他の蛍光ランプ取付具を基板 1 の取付孔 1 b を介してフレーム F に取付け両端の取付孔 2 a に各々ランプ・ホルダ 3 を挿入し前記複数の蛍光ランプ 7 のガラス部を挟持させる。その上で、各々の電材のリード線を公知の方法

で適宜配線して電飾看板を組立てる。

【発明の効果】

【0014】以上、詳述したように本発明による電飾看板照明用蛍光ランプ取付具はフレームに取付ける透明なプラスチック製基板と、該基板から一体に延長した電材取付板で蛍光ランプ、コンデンサー、安定器、グロー・ランプ等を取り付ける構成を有するので適宜個数を電飾看板に配置取り付けるだけで必要な電材をセット配線できるので蛍光ランプが如何に長くてもそれを支持する部材を最小限にすることができしかも透明な材料を使用

10

しているため看板に不要な影が投影されることがなく広告効果が向上するという効果がある。
【0015】さらに、前記電材取付板の一侧に前記蛍光ランプ・ホルダと前記コンデンサを取付け他側に前記安定器と前記グロー・ランプを取付けたことで電飾看板内のスペースを有効利用でき全体をコンパクトにすること＊

＊ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の電飾看板照明用蛍光ランプ取付具の分解斜視図である。

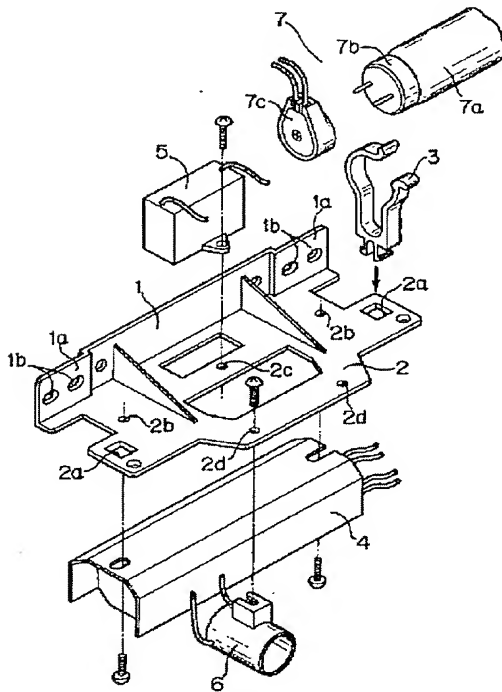
【図2】 図1の取付け具で照明用蛍光ランプを電飾看板内に取り付けけた状態の側断面図である。

【図3】 図1の取付け具で複数の照明用蛍光ランプを大型電飾看板のフレーム内に取り付けけた状態の側面図である。

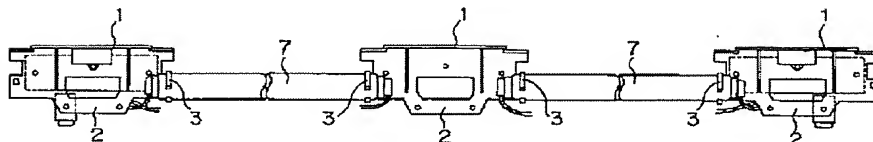
【符号の説明】

- | | |
|---|---------|
| 1 | 基板 |
| 2 | 電材取付板 |
| 3 | ランプホルダー |
| 4 | 安定器 |
| 5 | コンデンサー |
| 6 | グロー・ランプ |

【図1】



【図2】



(4)

特開平 10-261312

【図 3】

